KURE ROTARY CLUB　ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2710

WEEKLY BULLETIN

2024年2月1日(3485例会)(創立73周年)　呉ロータリークラブ週報　NO.3399

■呉 RC 2023～2024 年度テーマ　『できる「奉仕」と「親睦」～さらなる前進を目指して～』

会長　大上　功
副会長　奥原祥司　幹事　多賀　茂　会長エレクト　長行事義人
直前会長　増岡真一　会計　谷口好朗　会場監督　江山恭弘

〈事務局〉〒737-0045　呉市本通4丁目8-12
呉商工会議所ビル南館7階 705号室
☎(0823)24-4411　FAX(0823)21-5692
〈例会場〉〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
☎(0823)20-1111　FAX(0823)20-1120
〈例会日時〉毎週木曜日　12：30～13：30
E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp　HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp　My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

Rotary　CREATE HOPE in the WORLD

「世界に希望を生み出そう」
2023～2024年度　ゴードン R. マッキナリー　RI会長テーマ

今週のメインプログラム

２月１日（木）

国際奉仕委員会担当例会
「Beyond the Horizon
ー時・空を越えてー」
外部講師
海上自衛隊　呉地方総監
海将　二川 達也 様

次週のメインプログラム

２月８日（木）

故 住田 佳樹 会員　追悼例会

第3484例会記録【1月25日㈭】

【プログラム】　外部講師

株式会社広島銀行

代表取締役頭取　清宗 一男 様

Facebook　Home page

清宗さまが広島銀行に入行されてから、ラジオ番組「ジェットストリーム」が流れる0時過ぎに帰宅をされていた頃の話から、リーマンショックや金融円滑化法の施行による金融業界の激変時代を経て、頭取になられてからの変化、待遇についてもお聞かせいただきました。また、呉市がこれから人口減となっていくこと、製造産業構造が変化していく中で、駅前再開発に期待されていること、計画より短期間での実現をすべきであることや、半導体業界の需要拡大、事業承継の問題、環境問題、マネジメント不良による心理的な安全性を損なわせるリスクなどについてお話いただき、企業の取組むべき課題について認識させていただくことができました。

【出席率】　前々回92.86%　今回85.29%（会員74名・欠席10名・免除6名）

【来客】　◇外部講師
株式会社 広島銀行　代表取締役頭取　清宗 一男 様

【他クラブ出席者】　◇西藤君（1/20　RI第2710地区2023-24年度ロータリー財団勉強会）　1名

【欠席者】　◇岩本・海生（知）・柴萩・武田（信）・中野・福田・増岡・三宅・山村・山本君　10名

【出席免除者】　◇宇都宮（五）・大矢・奥川・海生（孝）・武田（保）・寺坂君　6名

【表彰】　【ロータリー財団】ポール・ハリス・フェロー　日下 美穂 君

【幹事報告】　◇江田島ロータリークラブ…例会変更及び取消のお知らせ。2/15㈭・2/29㈭定款第7条第1節（d）により休会。2/22㈭合同例会の為、2/20㈫クレイトンベイホテルへ変更。3/7㈭職場例会の為会場変更。龍和ドームミニコンサート。（オープン例会）

【S.A.A】　◇畦 淳造 君…コロナで中止していた地元郷原小学校の生徒を対象にした安全教室を4年振りに開催しました。その様子がテレビではTSSと本日の中国新聞に掲載されました。紙面の社員として息子の写真が乗ってます。中国新聞 古川支社長お世話になりました。

◇神垣 和典 君…本日週報に「歴代会長からのメッセージ」を掲載いただきました。後半部分は先月お亡くなりになった住田会員への追悼の思いです。娘婿として真鍋ガバナーに尽くされた、本当に『尽くされた』という言葉が先生を偲ばされます。若い会員にも記憶に残していただきたいと思いましたが、それにしてもこんなに早く亡くなられるとは残念です。掲載の順番もあって間にあいませんでしたが、ご冥福をお祈り申し上げます。

◇重川 智美 君…やっと、私、買いました。8本入りのハーフセット。より一層ロータリーライフを満喫したいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

◎ニコニコ基金金額　18,000 円（累計金額　897,000 円）

「地区補助金申請からみたロータリー財団」

ロータリー財団委員長　佐藤　政秀

本年度、当クラブのロータリー財団委員会は、地区補助金の申請を予定しています。

週報発行時は、理事会審議前のため、内容は割愛しますが、社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会が温めて頂いていた案を参考に、モノではなく汗をかくプロジェクト案として取り纏めております。

この地区補助金申請に際し、そこからみたロータリー財団について私見を交えながら述べたいと思います。

ロータリー財団は、その使命として、ロータリー会員が健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることと定義されており、皆さまからのご寄付を、世界中の人びとへの奉仕に役立て、ポリオの撲滅や平和の推進といった活動のために有効に活用されています。

具体的にみていくと、2022－23年度ロータリー財団支出3億3000万ドルの75%は、ポリオ根絶に向けたポリオプラス、グローバル補助金、地区補助金に使用されています。中でも、グローバル補助金は、ロータリーの7つの重点分野に向けた活動を支え、地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい短期的な活動に貢献しており、奨学生への支援や被災地への寄贈、体験学習の支援などに使われています。

一方で、2023－24年度2710地区ガバナー地区委員会方針によると、クラブごとに、1名につき年次基金150ドル以上、ポリオ・プラスへの支援として1名につき30ドル以上、1名または1クラブにつき1000ドル以上の寄付が求められています。

当クラブでは、2022－23グローバル補助金奨学生として留学された、鈴木健斗さんが記憶に新しいと思いますが、こうした背景をもとに、なぜ、当クラブはこの求められる寄付額に、ここ近年到達してこなかったのか。この問いに、半年間、悶々とした思いで過ごしてまいりましたが、昨年末に実施された社会奉仕委員会の「仁風園のこどもたちと遊ぼう」をきっかけに、ヒントを頂いたように思います。こどもたちと一緒に、塩を作り、ごはんを食べ、みかん狩りなどの活動を行うことの意義を、参加された多くの会員のみなさんやこどもたちの表情や行動から、学ぶことができました。率直に申し上げて、みなさんとてもイキイキされていました。

こうした汗をかく活動を、地区補助金のプロジェクトとしてやってみてはどうか、決して大きな額ではありませんが、この補助金を使うという視点から、上記のロータリー財団の使命がより身近なものとして見えてくるのではないかと感じています。

本申請の事前調整においては、社会奉仕委員会の菅原委員長とロータリー財団委員会の神垣副委員長に、現地での面談等でご協力頂くとともに、RI2710地区ロータリー財団の山本清委員長ならびに大之木精二パストガバナーに監修して頂きました。誠に有難うございました。

そして、仮に本申請が採択の際には、次年度が実施年となりますので、次年度ロータリー財団委員会を中心に、たくさんの会員のみなさんで盛り上げて欲しいと願っています。

引き続き、ロータリー財団委員会への皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。